

国立がん研究センターの調査によると、独身の人の約半数が「結婚する場合、相手は絶対たばこを吸わない人が良い」と答えています。「できれば吸わない人が良い」と答えた人も合わせると、およそ7割が結婚相手にはノンスモーカーを希望していることが分かりました。

たばこはがんの原因のトップですが、最大の問題は受動喫煙の存在です。受動喫煙は肺がん全体を3割も増やすことが分かっています。

たばこを吸わない女性の肺がんで一番多いのは腺がんと

いうタイプです。たばこを吸

う大問題です。

たばこを吸わない妻の肺腺がんは、夫が喫煙者だとリスクは

約2倍にもなることが分かつ

てます。非喫煙女性の肺腺

がんの原因の37%は夫からの

受動喫煙とされていますか

ら、大問題です。

喫煙者が結婚相手として嫌

われる原因是、たばこの臭いが

ない人よりも10年近く寿命が短くなります。20歳から75歳まで吸つとすれば、900万円近くの出費になります。

寿命が短縮するため、年金

の受給総額も喫煙者では減り

ます。会社員の場合、厚生年

金と国民年金を合わせた平均

受給額は月15万円程度です。

たばこと引き換えに、10年間

にもらい損ねる年金は、18

00万円にも上ります。

喫煙者は、生命保険の掛け金が高くなるなどの経

済的なデメリットもあります。

自分自身や配偶者の医療費も高くなり、病気や早死によ

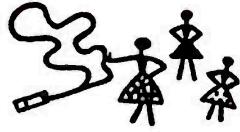
つて手にすることができるなくなる賃金も膨大になるでし

ょう。

（東京大学病院准教授）

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

### 結婚はたばこを吸わない人と

たばこを吸い続ける身勝手な夫も珍しくありません。喫煙は自分だけの問題ではすまないのです。

喫煙による経済損失は国内で年間2兆円を超えるとされますが、家計にも大きなダメージを与えます。

1箱440円のたばこを毎日1箱吸い続けると年間約16万円もかかります。たばこを吸う人は吸わ

ります。たばこを吸う人は吸わ

ります。たばこを吸う人は吸わ